

TOM

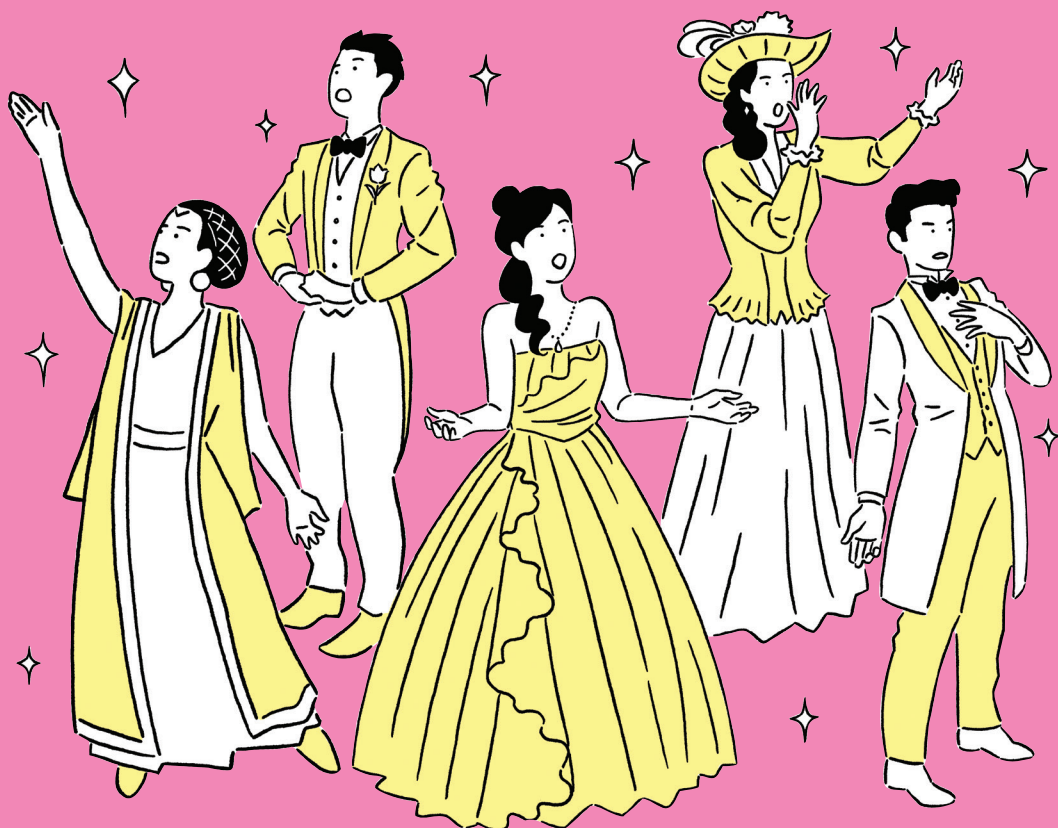
世界に
届く歌に変わる、
4年間

東京音楽大学の声楽専攻が新たに生まれ変わりました。

目指すのは美しい歌声だけではなく、豊かな表現や楽曲への深い理解をもった声楽家。

歌や指揮、演出などさまざまな分野の専門家がチームとなり、皆さんの「歌いたい」という気持ちをサポートします。

歌を学び、歌をとおして成長する4年間の始まりです。



「歌」を学ぶ。
「人」を育てる。

Q 東京音楽大学の声楽専攻は何が違うの？

A 舞台表現の基礎から、目的に合わせた専門的な表現まで学ぶことができます。

東京音楽大学の声楽専攻の特長は、歌唱表現の向上だけにとどまらない多角的なカリキュラム。基本的な発声法や歌唱法の習得に加え、1年次から「舞台基礎入門講座」で舞台表現の基礎を学び、声楽家として舞台上で求められる表現力や、プロフェッショナルとしての意識を早い段階から身につけることができます。また、オペラや歌曲の歌詞を理解するために必要な語学や歴史・文化、大編成の合唱などの授業も充実。学生一人ひとりの関心に応じて音楽表現を深めることが可能です。

東京音楽大学の声楽専攻 3つの特長

特長 1 すべての学生が舞台芸術の基礎を学びます。

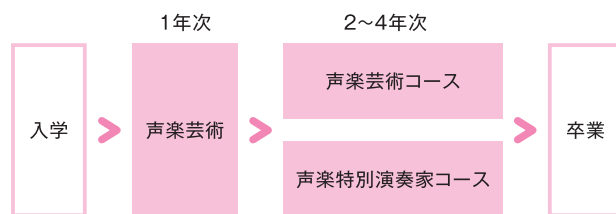
1年次は全員が声楽専攻「声楽芸術」に所属。発声法の基礎を学びながら、「舞台基礎入門講座」で舞台芸術の柱となる“音楽・表現・発想”を学び、舞台表現の基礎を身につけます。2年次以降は「声楽芸術コース」と「声楽特別演奏家コース」に分かれ、より専門的に学んでいきます。

特長 2 「声楽芸術コース」では多様な音楽が学べます。

「声楽芸術コース」では1年次に身につけた歌唱法を土台に、オペラやオペレッタ、ミュージカルなどの楽曲を原語や日本語で学びます。教員と相談しながら学習進度に合わせた曲目を選べるため、自分のペースで技術を磨くことができます。

特長 3 「声楽特別演奏家コース」で広く活躍できる声楽家に。

プロフェッショナルの声楽家の育成を意識した、少数精鋭の授業を受けられるのが「声楽特別演奏家コース」。歌曲やオラトリオ、オペラのアリアや重唱などのシーンを題材に、高度で実践的な授業が展開されます。第一線で活躍する声楽家や指揮者、演出家の指導のもと、広く活躍できる声楽家を目指します。



舞台基礎入門講座って？

舞台表現のすべてを凝縮した内容

呼吸法から発声、歌唱法、体の使い方まで、舞台表現に関わるすべてを学べる授業です。クラシックバレエ講師による授業や演技など多岐にわたるプログラムを用意。歌唱技術だけでなく、舞台上で求められる“表現者”としてのスキルを身につけます。各学期末に開催される試演会では、グループでひとつの作品を仕上げ発表します。



坂本 珠実さん
[1年/声楽芸術] (※)

「舞台基礎入門講座」では、歌う時の体の使い方や表現が声に大きく影響することを体感しました。授業は体を使った実践的な内容で、先生方も明るく熱心に教えてくださるので、とても充実しています。同じ専攻の仲間とコミュニケーションをとりながら、集中した雰囲気の中で楽しく学んでいます。



藪崎 栞さん
[1年/声楽芸術] (※)

体の使い方や舞台上でのマナーなど、舞台に関することを多方面から学べるのがこの授業の魅力です。演出家や声楽の先生方に指導をしてもらうことで、演技をする上での発想力なども磨かれていると思います。どうすれば、より伝えることができるのか、今後の授業でもしっかり学んでいきたいです。

Q どんな授業内容なの？

A 実技はもちろん語学、歴史、文化まで。声楽をアカデミックに学ぶ4年間です。

Curriculum

声楽専攻 カリキュラム

1年次は発声法や舞台表現の基礎を学び、歌唱技術と表現力を習得。2年次以降は専門家の指導のもと、オペラや歌曲を専門的に学びます。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目	専攻科目	声楽実技I 合唱1	声楽実技II 合唱2	声楽実技III 合唱3	声楽実技IV 合唱4 卒業演奏
	専門基礎科目	ピアノ(副科)I ソルフェージュI 和声I 西洋音楽史概論1-2	ピアノ(副科)II ソルフェージュII 和声II		

[選択科目]

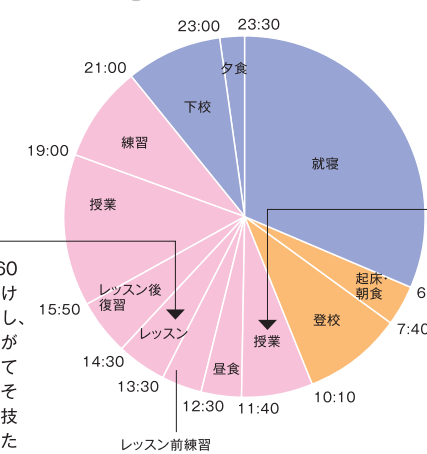
- 専攻科目: 舞台基礎入門講座、特別実習I~III (声楽特別演奏家コースのみ)、オペラ実習1~3、歌曲・重唱1A~2B、ヴォイストレーニング、ドイツ語歌詞研究、ドイツ語オペラ台本研究、イタリア語歌詞研究、イタリア語オペラ台本研究
 - 専門基礎科目: ソルフェージュIII-1~III-4、和声III-IV、和声分析I-II、対位法概論、歌曲史、オペラ史、ピアノ音楽史、管弦楽曲史、楽譜学、音楽分析学、音楽学特講A~C、世界音楽概論、世界音楽特講A・B、日本音楽史概論、日本音楽史特講A・B、音楽美学A・B
 - 専門共通科目 ●音楽学課程 ●選択教養・外国語
- *カリキュラムの詳細はホームページをご覧ください。

(FROM STUDENT)

声楽専攻2年生の1日に密着!

在学生のスケジュールを例に、声楽専攻の1日の過ごし方を紹介します。

須永さんの1日のスケジュール例



レッスンは週1回、60分です。前回注意を受けた部分を重点的に練習し、より高いレベルの指摘が受けられるよう心掛けています。曲の内容や、そこから学べる歌唱法や技術を徹底して習得するため、アリアと歌曲を1曲ずつ、約1カ月にわたって見ていただきます。



外国語は、1年次の「英語コミュニケーション」は必修です。私は1・2年次に、選択科目としてイタリア語(初級・中級)特別コースを受講しています。「特別コース」では、ネイティブの先生から発音や会話の指導を受けることができます。今後はドイツ語にも挑戦したいので、2年次からはドイツ語も学んでいます。

Event 学期ごとに試演会も!



1年次の「舞台基礎入門講座」で学んだことを生かし、オペラ表現(一部のミュージカルを含む)の基礎を学びます。ひとつの演目を作りあげていく過程(役の決定から小道具や衣裳、舞台のセッティングなど)を体験し、その成果を試演会で発表します。

大好きな音楽史を学ぶのが楽しい!

バレエの所作や舞台上での体の使い方などのほか、音声学や宗教学など、声楽に必要な知識も習得しています。「西洋音楽史概論」「オペラ史」「歌曲史」など、大好きな音楽史をいろいろな面から学ぶことができるのが楽しいですね。また、「特別実習」は、声楽家、演出家、指揮者から教わり、ネイティブによる言語指導も受けられるのでとても刺激的です。開放感あふれる新キャンパスのなかで、友達と即興でハモったり、好きな曲について語り合ったりと、毎日充実した日々を送っています。

須永 龍生さん

[2年/声楽特別演奏家コース] (※)



※学年はすべて取材時のものです

「一人ひとりの夢に合わせた、多角的な授業を」

教授 釜洞 祐子

本学のオペラ授業の大きな特色は、プロフェッショナルの現場に極めて近い形をとりながら、初歩から丁寧な指導を行っていること。歌、指揮、演出、発音など専門の教員がチームとなって指導にあたるため、実践的かつ多角的に学べるだけでなく、一人ひとりの成長に合わせて配役や場面を考えるなど、手厚い指導を心掛けています。「オペラをやってみたい」という夢をもったら、全力でチャレンジしてもらいたい。東京音楽大学には皆さんの夢を受け止め、手厚くサポートしようという教員が待っています。



入学試験情報

試験科目について

以下の6科目が必須です。

- 1 外国語
(独) 大学入試センターが実施する外国語試験の利用、または資格・検定試験の証明書を提出
- 2 楽典
- 3 新曲視唱・聴音より 1 科目選択
- 4 コールユーブンゲン
- 5 副科実技 (ピアノ)
- 6 専攻実技
(1) 大学が指定する課題曲表から3曲。試験当日1曲を指定する。
(2) 自由曲 1曲 (※)
※日本歌曲やミュージカルナンバー (出版されている楽譜に限る、言語は問わない) も選択可能です。オペラ・アリアは原調での歌唱に限ります。いずれもマイクの使用は不可、暗譜は必須です。

●詳細は各年度の『入学試験課題曲』、『入試要項』でご確認ください。本学ホームページの入試情報からもご覧いただけます。



FAQ

Q1

「声楽特別演奏家コース」に在籍するための条件は何ですか？

学年末の定期実技試験などにおける成績上位者の若干名が、翌年度から「声楽特別演奏家コース」に在籍することになります。また、同試験の成績によっては、「声楽特別演奏家コース」から「声楽芸術コース」に変更になることもあります。

Q2

レッスンで学ぶ内容について教えてください。

1年次と2~4年次の「声楽芸術コース」は週1回50分間、「声楽特別演奏家コース」は週1回60分間のレッスンがあります。個人レッスンで、学生一人ひとりのレベルや希望に応じた曲を指導教員と相談しながら選択します。1年次はイタリア語の歌唱が中心、3年次は両コースともに日本歌曲を学ぶことが必須で、「日本歌曲試演会」で全員が学習した成果を披露します。

Q3

授業の試演会は年に何回ですか？

年2回です。クラス内試演会になる場合もあります。

中目黒・代官山キャンパス (学校法人本部)
〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1
Tel. 03-6455-2700 Fax. 03-6455-2770

池袋キャンパス
〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5
Tel. 03-3982-3186 Fax. 03-3982-3183

最新情報は
WEBで⇒
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

